市町村名	那覇市

平成２９年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-4	亜熱帯庭園都市の道路美化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受入体制の整備
担当部課名	都市みらい部　道路管理課	事業実施（予定）年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	観光都市にふさわしい道路環境を創出することを目的に、幹線市道や観光地周辺市道の美化活動、具体的には景観に配慮した街路樹の剪定や除草及び色とりどりの植栽整備を推進する。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	H26年度（繰越）	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度（繰越）
予算の状況 (a) 当初予算額	－	39,800	89,700	49,320	―
予算の状況 (b) 予算現額	－	62,200	89,700	70,320	―
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	－	22,400	0	21,000	―
予算の状況 (d) 繰越額	15,205	－	－	－	12,695
予算の状況 A. 計 (b+d)	15,205	62,200	89,700	70,320	12,695
B. 執行済額	15,205	58,699	89,700	55,901	12,695
うち交付金充当額	12,164	46,959	71,760	44,721	10,156
次年度繰越額	－	－	－	12,695	－
執行率（%）(B/A)	100.0%	94.4%	100.0%	79.5%	100.0%
予算の状況の説明	剪定、除草については現年度で執行することができた。植栽工事については一部繰越となった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H29活動目標（指標）		達成状況 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
・幹線道路及び観光地周辺市道の除草 約19,000㎡ ・街路樹の剪定：約500本 ・道路緑化アンケート調査の実施	目　標	（ 4路線 植栽15本 ）	（ 除草18,000㎡ 剪定350本 植樹50本 ）	（ 除草9,000㎡ 剪定300本 ）	（ 除草19,000㎡ 剪定500本 ）
	実　績	12路線 植栽0本	除草19,600㎡ 剪定420本 植樹40本	除草21,412㎡ 剪定538本	除草19,467㎡ 剪定500本
・天久安里線植栽工事：約1500㎡	目　標	（ 植栽800㎡ ）	（ 植栽750㎡ ）	（ 植栽2,000㎡ ）	（ 植栽1500㎡ ）
	実　績	植栽820㎡	植栽750㎡	植栽2,596㎡	植栽1673㎡
達成状況説明	交付金対象路線の内、平成29年度は15路線について、除草及び剪定を実施し、目標を上回ることが出来た。また、天久安里線植栽工事の植栽については、目標面積を達成することができた。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H29成果目標（指標）		基準値（　年度）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（　年度）
本事業（剪定・除草・植栽整備等）による道路の美化対象路線について、観光地としてふさわしい道路環境及び景観であると感じる人の割合80%	目　標	（　　）	（ 美化整備率48% ）	（ 観光客満足度70% ）	（ 観光客満足度 80% ）	（　　）
	実　績		美化整備率48%	観光客満足度99%	観光客満足度88.5%	
・天久安里線の緑化整備率50%（1.8km/3.6m）	目　標	（　　）	（ 中央分離帯整備率 50% ）	（ 緑化整備率50% ）	（　　）	（　　）
	実　績		中央分離帯整備率58%	緑化整備率51%		
進捗状況説明	幹線道路及び観光地周辺市道において、成果目標を達成することにより観光都市としての景観、美観形成が推進され、主要路線のイメージアップにつながった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・「那覇市亜熱帯庭園都市街路樹管理ガイドブック」について、施工者や市民等に対して、より効果的に周知拡大させることが課題である。 ・今年度は樹種の確保について不測の時間を要したことから、市が候補樹種としている樹種の確保が課題である。	・剪定施工者に「剪定計画書」を事前に提出させ、剪定イメージを共有した状態で実施できるよう、更なる周知を徹底する。地域住民への周知や説明の際にはイメージ図等を利用する。 ・苗畑の状況は毎年、毎年変化するため、これまで同様沖縄県緑化種苗共同組合等の関係団体と情報共有に努める。

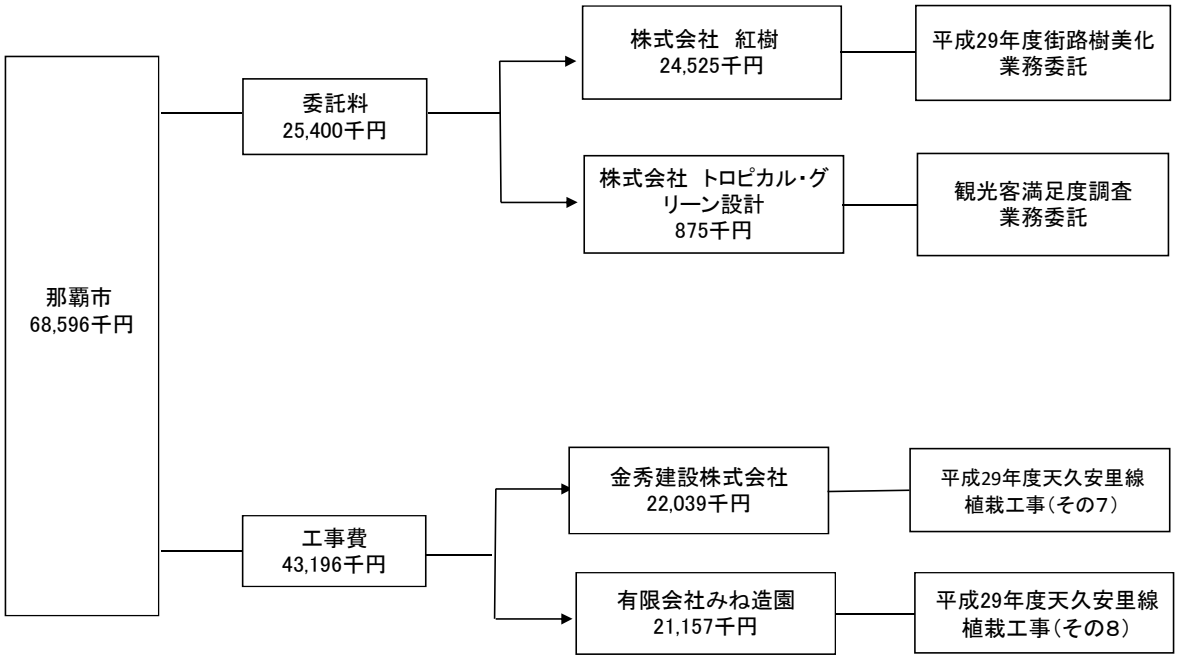
今後の取り組み方針

これまで同様に、街路樹の剪定、植樹については、台風による影響を最小限に抑えるため適切な時期に実施できるように取り組む。また、「那覇市亜熱帯庭園都市街路樹管理ガイドブック」について、施工者側へ当該ガイドブックの周知を図るとともに理解度の向上を促進し、業務効率化や技術的な向上に努めていく。また、早期に沖縄県緑化種苗共同組合等の関係団体へ本市の発注状況を提供して情報共有を図り、必要な樹木が確保できるように努める。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
68,596	68,596	54,877	13,719	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託、工事共に一般競争入札により選定しており妥当と判断。 ・予算規模については全額執行しており、適正な規模と判断。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものであり、適正であったと判断。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２９年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-20	国際通り情報発信大型ビジョン活用事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（2）－ウ
					観光客の受入体制の整備
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（1）
事業内容	観光拠点である国際通りにおいて、大型ビジョンを活用して那覇市の観光PR映像、ARコンテンツ、イベント中継等の観光情報を発信する。				
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　　■委託　　□補助　　□負担　　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H29年度（繰越）
予算の状況	(a) 当初予算額	32,287	6,700	6,813	7,539	－
	(b) 予算現額	10,487	6,700	6,813	14,287	－
	(c) 増減額(b-a)	▲ 21,800	0	0	6,748	－
	(d) 繰越額	－	－	－	－	6,748
	A. 計(b+d)	10,487	6,700	6,813	14,287	6,748
B. 執行済額		10,427	6,638	6,275	7,513	6,748
うち交付金充当額		8,341	5,309	5,019	6,010	5,398
次年度繰越額		－	－	－	6,748	－
執行率（%）(B/A)		99.4%	99.1%	92.1%	52.6%	100.0%
予算の状況の説明		・大型ビジョン活用業務委託については、公募型プロポーザルを実施し執行率99.9%となった。 ・ARコンテンツ制作業務委託については、H30.1月に公募を実施したが応募者がなく年度内に執行ができなかったことから翌年に繰越し予算執行した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H29活動目標（指標）		達成状況 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
・観光プロモーション映像等の放映（毎日9:00～20:00）	目　標	（　魅力発信　）	（　魅力発信　）	（　魅力発信　）	（　魅力発信　）
	実　績	11時間／日	11時間／日	11時間／日	11時間／日
・那覇大綱挽等のイベント中継（年10回以上）	目　標	（　　）	（　4回　）	（　4回　）	（　10回　）
	実　績		4回	13回	10回
・てんぶす広場とビジョンを活用したにぎわい創出イベントの実施	目　標	（　　）	（　2回　）	（　2回　）	（　　）
	実　績		0回	0回	

達成状況説明

・午前9時から午後8時までの11時間、観光プロモーション映像及びARコンテンツの映像を放映し、本市の魅力発信を行なった。また、高校野球や祭りイベント中継等の臨時番組も放映し、ビジョンを多様に活用することで中心市街地の賑わいを創出した。
・イベント中継においては、計10回実施し、イベントを効果的に演出し観光地としての魅力向上を図った。（国際通り等で行われるイベントの模様を中継放映。一万人エイサー踊り隊、クールチョイスイベント、那覇大綱挽まつり、首里城祭、離島フェア2017プレ企画、オリンピースin国際大通り2017など）

成果目標（指標）及び進捗状況

H29成果目標（指標）		基準値（　年度）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（　年度）
視聴者測定システムによる集計数（月平均）	目　標	（　　）	（　15,600人　）	（　15,000人　）	（　15,900人　）	（　　）
	実　績		9,438人	13,900人	17,506人	
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明

観光プロモーション映像等の放映、那覇大綱挽等のイベント中継など、当初予定していた業務を滞りなく実施できたこともあり、目標値を達成することができた。

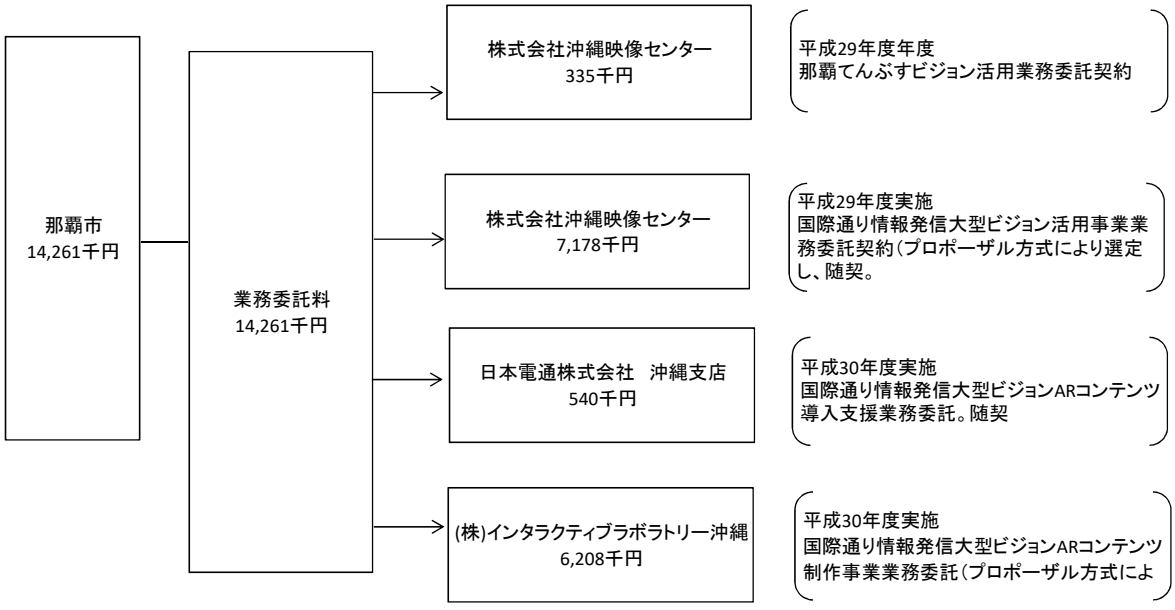
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・観光プロモーション映像、ARコンテンツが陳腐化していることにより視聴者数が減少する可能性がある。 ・維持費が年間一千万円以上かかるため、沖縄振興特別推進交付金制度終了後の運営方法について検討を要する。 ・H29年度より、民間企業等の広告を掲載し、広告掲載料を維持費へ充当する等の財政負担軽減のための対策を講じたが、収入額が目標を下回った。	・繰越し予算により新たに制作したARコンテンツを活用しビジョンの魅力アップを図っていく。 ・有料広告収入を増加させるための仕組み作りが必要。

今後の取り組み方針

・これまで以上に視聴者を惹きつけるため、新たに制作したARコンテンツの放映回数を多くするなど放映番組の編成を検討する。
・有料広告収入を増やすため、大型ビジョン活用業務委託の公募の際に有料広告を増やす取り組みを提案できるよう、審査評価基準に追加する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
14,261	14,261	11,408	2,853	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○H29.4.1～5.30においては、交付決定前の事業着手制限があるなか、事業の継続を図るため、実績のあるH28年度受託業者との随意契約を行い、妥当である。 ○H29.6.1～H29.3.31においては、公募型企画提案方式により、企業組織、実績、企画内容等を比較の上、受託事業者を選定しているため、妥当である。 ○予算規模は、事業者からの見積を参考に、過去の実績、仕様の内容に応じて積算を行っており、適正な積算である。 ○費目、使途については報告書類等において検査を実施しており、目的に即し、必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２９年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3-18	那覇市全域商店街基礎調査事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（8）－イ（商店街・中心市街地の活性化と産業の振興）
担当部課名	経済観光部　なはまちなか振興課	事業実施（予定）年度	平成29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（7）
事業内容	市内全域の商店街の点在状況や各商店街の実態について調査・課題を分析し、地域特性を活かした商店街のあり方とその支援策について検討を行う。				
効果発現年度	■当年度　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H29年度	H29年度（繰越）	H30年度	R1年度	R2年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,943	0			
	(b) 予算現額	4,943	0			
	(c) 増減額 (b-a)	0	0			
	(d) 繰越額	－	4,943			
	A. 計 (b+d)	4,943	4,943			
B. 執行済額		0	4,695			
うち交付金充当額		0	3,756			
次年度繰越額		4,943	－			
執行率（%） (B/A)		0.0%	95.0%			
予算の状況の説明		調査対象として、活動中の商店街、休眠状態の商店街に加え、登録されていない商店街の調査についても調査対象とし、より詳細に調査するためヒヤリング相手との日程調整や現地調査に日数を要したことからスケジュールに遅れが生じ、H30年度に繰越した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H29活動目標（指標）		達成状況 H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
・商店街へのアンケート・ヒアリング	目　標	（　－　）	（　50　）	（　　）	（　　）
	実　績	－	52		
・店舗へのアンケート・ヒアリング	目　標	（　－　）	（　50～100　）		
	実　績	－	未実施		
・関係機関へのアンケート・ヒアリング	目　標	（　－　）	（　4か所　）	（　　）	（　　）
	実　績	－	10か所		

達成状況説明：市が作成した商店街名簿に掲載された市内商店街・通り会組織及び、名簿に記載がないが、商店街・通り会組織が存在している可能性がある場所を調査対象とし、アンケート送付・ヒアリング調査を行なった。
当初は市が名簿で把握していた45の商店街を調査対象としていたが情報提供があり、調査対象がプラス29の74の商店街となりその数が増えたため、アンケート・ヒアリング調査を商店街・通り会組織のみとし店舗への調査は行わなかった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H29成果目標（指標）		基準値（　年度）	H28年度	H29年度	H30年度	目標値（　年度）
調査報告書の作成完了	目　標	（　　）	（　－　）	（報告書作成）	（　　）	（　　）
	実　績		－	作成完了		
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：本市全域の商店街の状況、各商店街の実態に関する調査及び商店街振興支援組織等へのヒアリングを実施し、これらと経済センサス等の統計データを活用して市域の商店街の課題を整理・分析し、地域特性を活かした商店街振興施策・事業の立案基礎資料となる報告書を作成した。

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・市全域の商店街基礎調査により、商店街として販売促進活動の停滞、リーダー不在、人材の育成等といった多くの課題を抱えていることが分かった。 ・特に、中心商店街以外の商店街については、地域の安全安心のために事業展開し地域に貢献している一方で、持続的な集客力の確保やリーダーの不足、人材育成等といった課題がより深刻であることが分かった。	・本事業で作成した報告書を基礎資料として商店街支援に活用する。 ・中心商店街以外の商店街を対象とした新たな支援施策を検討する。

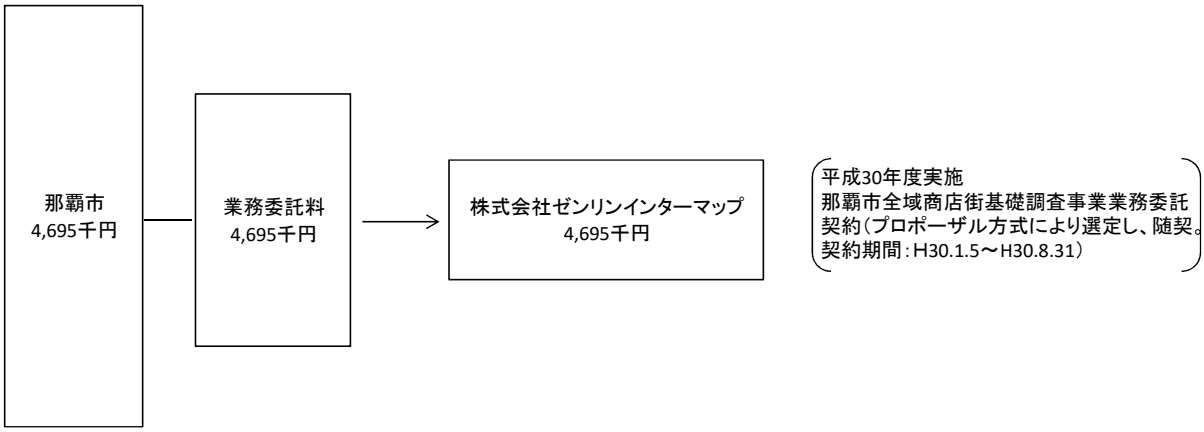
今後の取り組み方針

・商店街からの相談支援及び商店街の課題解決や活性化のための取組みに対し補助金を活用した支援などを通して、商店街等の振興に取り組んでいく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,695	4,695	3,756	939	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、企画提案審査を行い地方自治法施行令第167条の2第1項第1号による随意契約により実施しており、妥当であったと考えている。 ○予算規模は、事業者からの見積を参考に、過去の実績、仕様の内容に応じて積算を行っており、適正な積算である。 ○費目、使途については報告書類等において検査を実施しており、目的に即し、必要なものであると判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２９年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-1	那覇港総合物流センター整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（4）－ア 臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成
担当部課名	都市みらい部　都市計画課	事業実施（予定）年度	平成25～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－（3）
事業内容	本県の生活・産業物資の輸送の大部分を担う港湾物流機能を改善し、従来型物流の高度化を図り、さらに付加価値型ものづくり産業の集積などの国際物流拠点の形成を図るため、物流棟本体及び機械工事、地盤改良工事を行う。				
効果発現年度	□当年度　　■後年度（令和元年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		H27年度（繰越）	H28年度	H28年度（繰越）	H29年度	H29年度（繰越）
予算の状況	(a) 当初予算額	－	590,547	－	1,062,500	－
	(b) 予算現額	－	653,547	－	1,062,500	－
	(c) 増減額（b-a）	－	63,000	－	0	－
	(d) 繰越額	304,420	－	265,620	－	437,557
	A. 計（b+d）	304,420	653,547	265,620	1,062,500	437,557
B. 執行済額		304,420	387,927	265,620	624,943	437,557
うち交付金充当額		243,536	310,341	212,496	499,954	350,045
次年度繰越額		－	265,620	－	437,557	－
執行率（%）（B/A）		100.0%	59.4%	100.0%	58.8%	100.0%
予算の状況の説明		・物流棟・本体建築工事において、施工方法に変更が生じた。当該変更に伴い、工事で使用するクレーンの規格を変更したところ、近隣の大型施設の整備と工事期間が重なったため、必要な大型クレーンの台数が確保できず、工程に遅れが生じたことから、437,557千円を平成29年度に繰り越した。 ・平成29年度予算においては、予算額通り執行できた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H29活動目標（指標）		達成状況 H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
総合物流センター建築工事（物流棟躯体及び設備工事）の実施	目　標	（ 実施設計の実施 ）	（ 基礎工事の着手 ）	（ ・ﾗﾝﾌﾟｳｪｲ躯体工事の実施 ・物流ｾﾝﾀｰ本体部基礎工事の実施 ・構造規模：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造・一部鉄骨造 ・建築面積：1.5ha ・延べ面積：4.6ha ）	（ 物流棟躯体及び設備工事の実施 ）
	実　績	実施設計の実施	基礎工事の着手	・ﾗﾝﾌﾟｳｪｲ躯体工事の実施 ・物流センター本体部基礎工事の実施 ・構造規模：鉄筋コンクリート造・一部鉄骨造 ・建築面積：1.5ha ・延べ面積：4.6ha	物流棟躯体及び設備工事の実施
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				
達成状況説明		那覇港総合物流センターの物流棟本体工事及び設備工事を実施した。			

成果目標（指標）及び進捗状況

H29成果目標（指標）		基準値（H23年度）	H27年度	H28年度	H29年度	目標値（R1年度）
物流棟本体主要構造部（柱・梁・床）の完成及び受変電施設の設置	目　標	（　　）	（ 基礎工事の完了 ）	（ ﾗﾝﾌﾟｳｪｲ躯体工事の完了 物流ｾﾝﾀｰ本体部基礎工事の完了 ）	（ 物流棟本体主要構造部（柱・梁・床）の完成及び受変電施設の設置 ）	（　　）
	実　績		・実施設計業務の完了 ・基礎工事の完了	地盤改良、高圧電気設備、ﾗﾝﾌﾟｳｪｲ、事務所棟及び物流ｾﾝﾀｰ本体基礎工の完了	物流棟本体主要構造部（柱・梁・床）の完成及び受変電施設の設置	
【参考指標】沖縄21世紀ビジョン実施計画P173 那覇港の取扱貨物量	目　標	（ 1,004万トン）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		1,096万トン	1,157万トン	1,216万トン	
【R1成果目標】 那覇港総合物流センターの取扱貨物量の増4,580TEU／年間	目　標					4,580TEU／年間
進捗状況説明		・那覇港総合物流センター整備事業：受変電施設完成および、物流棟本体主要構造部（柱・梁・床等）が完成した。				

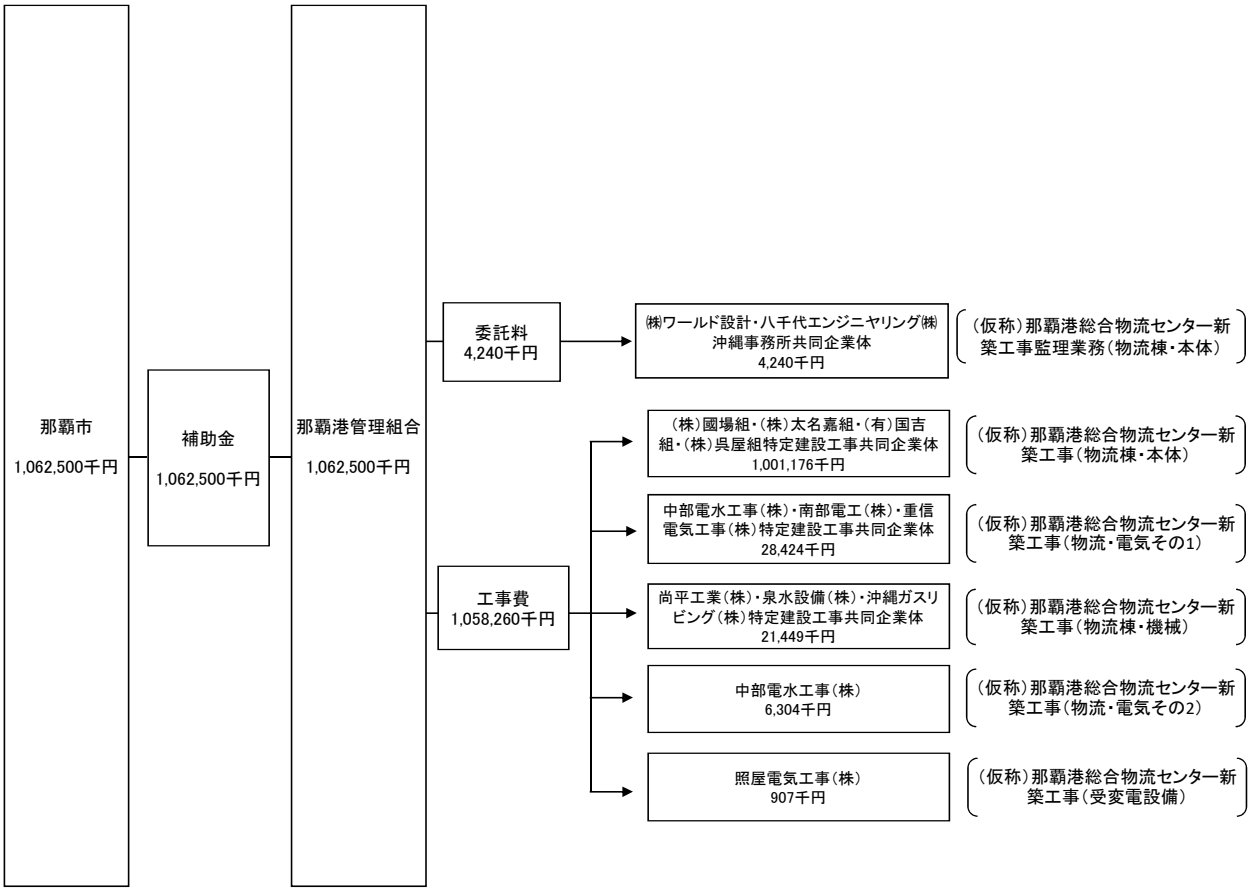
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	クレーンの規格変更等に伴い工程遅れが生じたことから、今後は工程管理を徹底する必要がある。	早期に工事の発注を行うなど、次年度は計画通りに事業を進められるよう適切な工程管理に努める。

今後の取り組み方針

早期に工事の発注を行うなど、次年度は計画通りに事業を進められるよう適切な工程管理に努める。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
1,062,500	1,062,500	850,000	212,500	0



資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・物流センターについて一般競争入札の最低価格業者と契約を結んでいることから、支出先の選定方法は妥当であると考える。 ・設計時において複数の工法から最も経済的な工法を選択していることから、予算規模は事業内容に見合っていると考える。 ・費目、使途については、関連書類を確認し、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	那覇市

平成２９年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4-3	那覇港輸出貨物増大促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－（1）－イ
					人流・物流を支える港湾の整備
担当部課名	都市みらい部　都市計画課	事業実施（予定）年度	平成29年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（3）
事業内容	那覇港において新規の国際航路を開設し輸出貨物量の増大を図るため、那覇港からの輸出貨物に対して補助を行い、荷主や船社を支援する実証実験を実施する。				
効果発現年度	■当年度　　□後年度（　　年度）				
実施方法	□直接実施　□委託　■補助　□負担　□その他（　　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

	H29年度	H29年度（繰越）	H30年度	R1年度	R2年度
予算の状況 (a) 当初予算額	15,000	－			
予算の状況 (b) 予算現額	15,000	－			
予算の状況 (c) 増減額 (b-a)	0	－	0	0	0
予算の状況 (d) 繰越額	－	15,000			
予算の状況 A. 計 (b+d)	15,000	15,000	0	0	0
B. 執行済額	0	6,484			
うち交付金充当額	0	5,187			
次年度繰越額	15,000	－			
執行率（%）(B/A)	0.0%	43.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

予算の状況の説明

・業務委託において、船社の公募要件の検討に想定外の時間を要したことから、次年度に繰り越した。
・当該事業では、公募により「新規寄港」や「既存航路の再編」による航路の開設など、国際航路拡充に向け、船社と協議しながら業務を推進してきた。航路の開設が当初想定していた「新規寄港」ではなく、「既存航路の再編」によるものだったことや、既存航路再編による新規航路開設にあたり、天候不順などにより寄港回数が減ったことなどから、不用額が生じた。

活動目標（指標）及び達成状況

H29活動目標（指標）		達成状況 H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施	目　標	（船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施）	（　）	（　）	（　）
	実　績	船社を対象とした実証実験及び検討業務委託の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：船社を対象とした実証実験及び検討業務委託を行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H29成果目標（指標）		基準値（H23年度）	H29年度	H30年度	R1年度	目標値（R3年度）
取扱貨物量の増加を図るため、新規外航航路を開設する。(1航路)	目　標	（　）	（新規外航航路1航路）	（　）	（　）	（　）
	実　績		新規外航航路1航路			
【参考】那覇港の外貿取扱貨物量	目　標	（120万トン）	（　）	（　）	（　）	（342万トン）
	実　績		116万トン	116万トン	120万トン	

進捗状況説明：航路再編を実施した外航船社への補助事業を開始し、那覇-香港直行航路が開設された。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・多くの外貿・内貿貨物を取り扱う那覇港新港ふ頭地区の一部は、直轄事業で整備を行う臨港道路若狭港町線（那覇北道路）の影響範囲に入っており、事業進捗に伴い荷さばき地や上屋などの港湾施設が使用できなくなる。 ・東京、横浜、大阪、神戸の各港において周辺道路の混雑やドライバーの人手不足などが課題となっており、輸送手段や発着港の転換を図るモーダルシフトなどの動きがある。	・当初目標の航路開設を達成できたことから、現在の取組に対して改善の必要は無いものと考えられる。

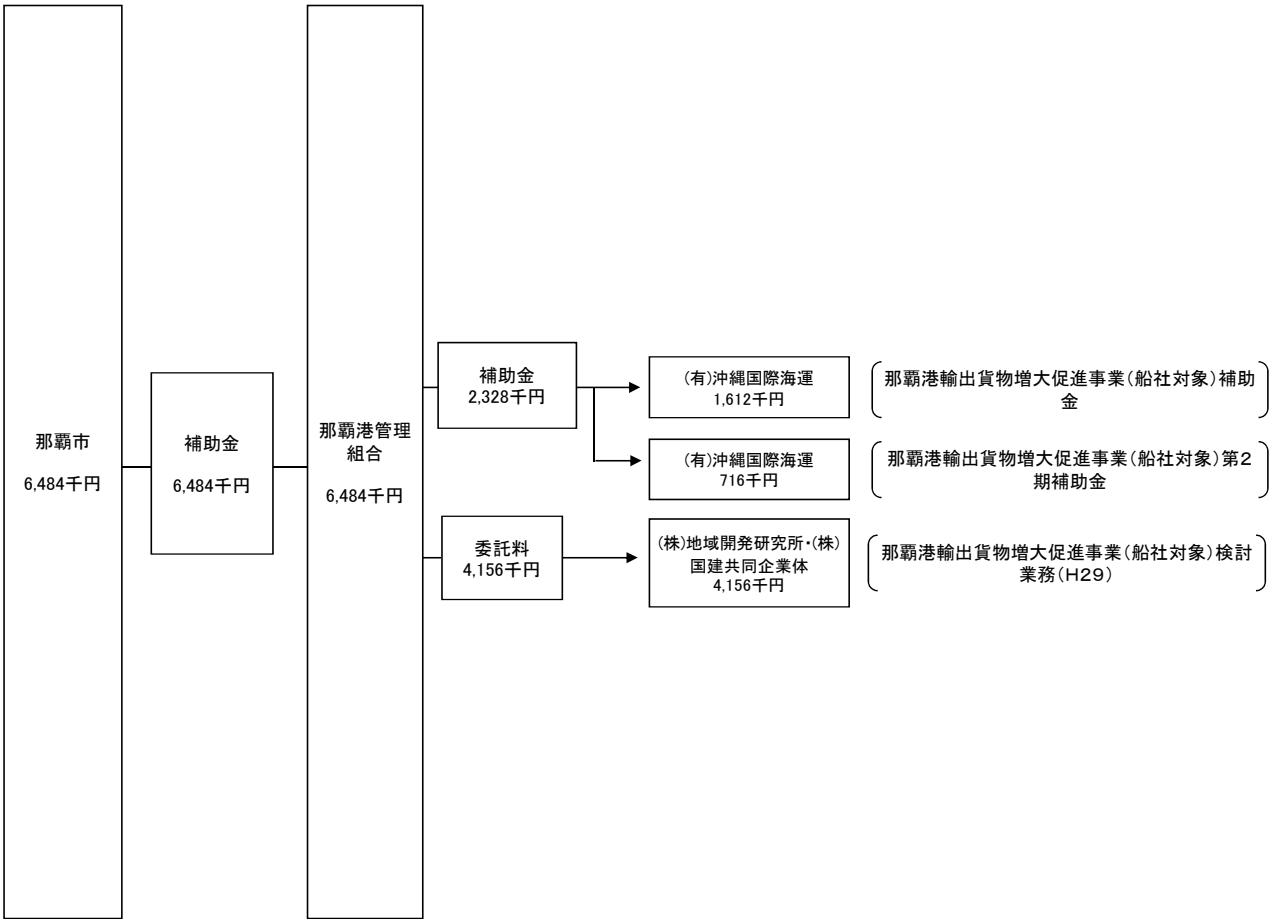
今後の取り組み方針

・補助事業終了後の就航航路安定運航を見据えた補助スキームの検討を行いながら、、輸出貨物増大促進事業を実施していく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,484	6,484	5,187	1,297	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支援希望事業者を公募し、書類審査を経て選定された事業者に対して支援を行う。支援内容と金額については選定者と協議のうえ、予算の範囲内で決定・交付する。 ・支援要件として、開設する航路は「那覇港に月2～4便、定曜日に寄港するもの」に限定している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	